



笑顔あふれる 地球づくり

「一乗」精神の 「社会発信」「世界発信」をめざす「一食」

いちじき
「一食を捧げる運動」（「一食運動」）は、食事などの一欲を節し、そのお金をさまざまな国の人道的支援、開発協力などに役立てていく社会運動です。私たちは「一食運動」の実践を通じ、「笑顔あふれる地球づくり」をめざしています。



「一食運動」の根本にある「一乗」の教え

私たちは、いま「地球」という一つの乗り物に乗り合わせていますが、民族や言語、価値観は多様であり、さらに一人ひとりの個性や能力はさまざまです。ただ一つ、「幸せになりたい」という願いは世界共通です。

しかしその願いは、一人でも苦しんでいる人がいれば実現できません。地球に住む人びとが互いに協力し支え合わなければ、真の幸せはやってこないのです。

本会が進める「一食運動」は、「私たちは大いなる一つのいのちに生かされた兄弟姉妹である」という仏教の世界観、すなわち「一乗」の教えに基づいた運動です。

仏教の根本思想である「一乗」の精神を広く社会や世界に発信することで世界平和をめざすのが「一食運動」です。



イスラエル軍の空爆、地上攻撃によって、多くの尊いのちが失われ、学校、病院、モスクなども破壊されたパレスチナ自治区ガザ

子どもたちのいのちを守りたい！ もう、無関心ではられない！

「一乗」の教えに基づいた「一食運動」の精神を
具体的に表わしたのが「同悲」「祈り」「布施」の三つです。

同悲

世界ではいま、貧しさや紛争などで

食べるものがなくて苦しんでいる人がいます。

あなたの苦しみ、悲しみは私の苦しみ、悲しみ。

あなたの喜び、笑顔は私の喜び、笑顔。

思いやりは想像力から生まれるといわれます。

「一食運動」をとおして、

遠く離れたあなたの痛みを分かち合いたい。

布施

私たちは、みんな同じ仏の子。

そう思うと、まだ出会ったことのない

遠い国の人びとが兄弟姉妹に感じられます。

祈りから行動へ――。

「一食運動」をとおして、

自分の持てるものをあなたのために捧げたい。



祈り

世界で起こる紛争や対立。

暴力や抑圧は新たな憎しみを生みます。

平和と共生の世界を創るために、

私たち一人ひとりが「祈り」を捧げるとき、

強い連帯感や一体感が生まれ、

平和を創り出す大きな力となります。

「一食運動」をとおして、

「みんなと共に幸せになりたい」と祈りを捧げたい。

